

科目名	ビジネススキル3							年度	2026
英語科目名	Buisines skill 3							学期	前期
学科・学年	スポーツ健康学科 スポーツインストラクターコース 2年次	必/選	必	時間数	30	単位数	2	種別※	講義
担当教員	手島	教員の実務経験		有	実務経験の職種		スポーツインストラクター		
【科目の目的】 就職活動に向けた準備を行うことで、希望する企業・業界への就職を実現するための力を養います。									
【科目の概要】 社会人になるために必要なコミュニケーションスキルを身につけます。									
【到達目標】 自分のキャリアについて考え、キャリアデザインが出来るようにしていきます。また、自身のキャリアデザインからその時期に応じた自分自身の目標をたて、達成できるようにしていきます。就職活動に向けて、手紙・ハガキ・電話・Eメールなどのビジネスマナーを身につけることも上記に併せて到達目標とします。各種ビジネスマナー、リクルートマナーを学び、自身の就職活動に繋げていきましょう。									
【授業の注意点】 学生間・教員と学生のコミュニケーションを重視します。キャリア形成の観点から、授業中の私語や受講態度などには厳しく対応します。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求めます。社会の動きなどを概説しますが、自身でも情報を収集し、現在の社会情勢や今後の推移について考えましょう。また授業時数の4分の3以上出席しない者は修了することができません。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック 評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力				
到達目標 A	就職を希望する業界の知識と卒業後のキャリアビジョンをしっかりと描くことが出来ている。		就職を希望する業界の知識と卒業後のキャリアビジョンを「ある程度」描くことが出来ている。		就職を希望する業界の知識と卒業後のキャリアビジョンを考えるにとどまっている。				
到達目標 B	社会人として必要となる準備と向き合い、自ら事前に行動できている		社会人として必要となる準備と向き合い、スケジュール通りに行動できている		社会人として必要となる準備と向き合い始めている				
到達目標 C	一般的なビジネスマナーが十分に備わっており、インストラクターに求められる高いコミュニケーションスキルを獲得できている。		一般的なビジネスマナーが理解できており、インストラクターに求められるコミュニケーションスキルを理解できている		一般的なビジネスマナーおよびインストラクターに求められるコミュニケーションスキルが不十分である。				
到達目標 D									
到達目標 E									
【教科書】 配布プリント									
【参考資料】									
【成績の評価方法・評価基準】 試験と課題を総合的に評価します。積極的な授業参加度、授業態度によって評価します。									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

科目名		ビジネススキル3			年度	2026
英語表記		Buisines skill 3			学期	前期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	就職活動報告1	就職活動の状況を報告し、情報を共有する	1 就職活動の振り返り	自身の就職活動の状況を振り返ることができる	3	
			2 就職活動の情報収集・共有	他者の就職活動の状況を振り返りから、自身の対策を考えることができる		
2	就職活動報告2	就職活動の状況を報告し、情報を共有する	1 就職活動の振り返り	自身の就職活動の状況を振り返ることができる	3	
			2 就職活動の情報収集・共有	他者の就職活動の状況を振り返りから、自身の対策を考えることができる		
3	キャリアデザイン1	スポーツインストラクターのキャリアパスについて理解する	1 事例紹介	一般的な業界のキャリアパスについて理解する	3	
			2 業種別のキャリア	業種によるキャリアパスの差異について理解する		
			3 先輩の事例	先輩のキャリアパスから自身のキャリアパスについて考えることができる		
4	キャリアデザイン2	自身のスポーツインストラクターとしてキャリアパスを考える	1 卒業後のキャリア	卒業後に就職する企業でのキャリアについて考えることができる	3	
			2 就職後のキャリア	就職後5年以内のキャリアについて具体的に考えることができる		
5	コミュニケーションスキル1	就職活動で必要となるコミュニケーションスキルの獲得	1 プレゼンテーション	就職活動で頻出のプレゼンテーション課題について理解し、資料作成と準備を行うことができる	3	
6	コミュニケーションスキル2	就職活動で必要となるコミュニケーションスキルの獲得	1 プレゼンテーション	就職活動で頻出のプレゼンテーション課題について理解し、発表を行うことができる	3	
7	キャリアデザイン3	自身のスポーツインストラクターとしてキャリアを長期的視野でデザインする	1 20代のキャリアデザイン	各年代におけるキャリアを長期的視野に立ってデザインすることができる	3	
8	キャリアデザイン4	自身のスポーツインストラクターとしてキャリアを長期的視野でデザインする	1 30代のキャリアデザイン	各年代におけるキャリアを長期的視野に立ってデザインすることができる	3	
9	キャリアデザイン5	自身のスポーツインストラクターとしてキャリアを長期的視野でデザインする	1 40代以降のキャリアデザイン	各年代におけるキャリアを長期的視野に立ってデザインすることができる	3	
10	コミュニケーションスキル3	就職活動で必要となるコミュニケーションスキルの獲得	1 グループワーク	就職採用試験で頻出のグループワークを体験し、評価されている項目が何であるかについて問いかけることができる	3	
11	コミュニケーションスキル4	就職活動で必要となるコミュニケーションスキルの獲得	1 グループワーク	就職採用試験で頻出のグループワークを体験し、他者と協調・協働しワークを進行することができる	3	
12	キャリアデザイン6	現場で活躍するスポーツインストラクターの実際について卒業生やプロから話を聞く	1 現場で活躍するインストラクターの話	現場で活躍するインストラクターの話から自身のキャリアパスについて想像することができる	3	
13	キャリアデザイン7	現場で活躍するスポーツインストラクターの実際について卒業生やプロから話を聞く	1 現場で活躍するインストラクターの話	現場で活躍するインストラクターの話から自身のキャリアパスについて想像することができる	3	
14	キャリアデザイン8	現場で活躍するスポーツインストラクターの実際について卒業生やプロから話を聞く	1 現場で活躍するインストラクターの話	現場で活躍するインストラクターの話から自身のキャリアパスについて想像することができる	3	
15	まとめ	まとめ	1 振り返り	これまでの授業を振り返ることができる	3	
			2 自己評価	自身のキャリアデザインとコミュニケーションスキルについて自己評価することができる		
			3 目標設定	これまでの振り返りをもとに今後の目標設定ができる		

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等